

2. 指標設定

成果指標	指標名	防災環境の向上	目標年度	指標の設定理由			
	数値	—		H27	災害から市民を守り、安心して生活することができる環境の向上を図るため		
活動指標	指標	a 自主防災組織防災訓練実施件数	b	ハザードマップ作成枚数	c	避難所表示板設置数	d
	数値	目標 103件	目標	400枚	目標	—	目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
防災環境の向上		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 自主防災組織防災訓練実施件数	件	19 件	31 件	41 件
		18.4 %	30.1 %	39.8 %
b ハザードマップ作成枚数	枚	336 枚	336 枚	336 枚
		84.0 %	84.0 %	84.0 %
c 避難所表示板設置数	ヶ所	152 ヶ所	152 ヶ所	152 ヶ所
		—	—	—
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
地域防災力の向上を図るためには、更なる自主防災組織の組織化、活動の活性化が必要。
対応（改善点等）
地域の防災リーダーと期待する防災士のフォローアップを図るとともに、資機材購入補助事業を新設し自主防災組織活動の活性化を図る。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

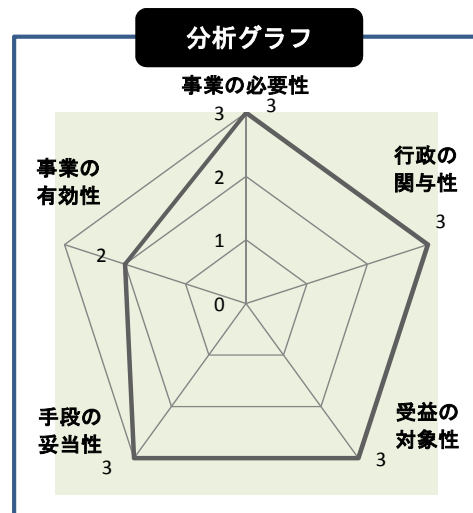
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		24,337	38,478	30,738	31,272
うち経常経費		18,942	21,858	20,675	20,115
財源内訳	国費				
	県費	2,019	2,247	1,007	706
	市債				
	その他	91		2,975	
	一般財源	22,227	36,231	26,756	30,566
うち経常		18,942	21,858	20,675	20,115
事業費に係る人件費		11,610	10,949	9,982	9,669
事業費に係る人役		2.70	2.55	2.29	2.18

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
災害から市民を守り、安心して生活することができる環境づくりに引き続いて取り組んでいく。 また、個別の事業費の見直しを行い、経常経費の削減に努めていく。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 災害から市民を守り、安心して生活することができる環境を提供するためには必要である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 災害対策基本法により、国、地方自治体、住民の責務が定められており、市の責務が発生するため。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 全ての市民を対象に、事業を実施しているため。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 災害に強いまちづくりを推進するうえで適切な手段であるため。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 防災資機材等の充実を図る一方、自主防災組織活動についても成果は上がってきているものの、目標到達にはいたっていない。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、自主防災組織の強化及び地域の災害対応力を高めるための支援を行うこと。